

授業科目 基礎看護技術演習Ⅱ

【担当教員名】 長谷川隆雄 他	対象学年	1	対象学科	看護学科
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：G10】

1. 人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助方法を理解する。
2. 診療補助行為に関わる援助方法等の基礎的な看護技術について修得する。

【行動目標：SB0】

1. 検査における看護の役割について説明できる。
2. 検査に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。
3. 採血に必要な看護技術を演習で実施できる。
5. 採尿に必要な看護技術を演習で実施できる。
6. 薬物療法における看護の役割について説明できる。
7. 薬物療法に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。
8. 筋肉内注射に必要な看護技術を演習で実施できる。
9. 呼吸療法における看護の役割について説明できる。理解する。
10. 呼吸療法に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。
11. 喀痰吸引に必要な看護技術を演習で実施できる。
12. 吸入療法に必要な看護技術を演習で実施できる。
13. 栄養療法における看護の役割について説明できる。
14. 栄養療法に伴う看護技術の理論的な根拠について説明できる。
15. 食事介助に必要な看護技術を演習で実施できる。
16. 経管栄養に必要な看護技術を演習で実施できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	1. 検査に伴う看護技術		講義
	1) 検査における看護の役割	1	
	2) 検査の種類と方法	2	
2-3	3) 演習-採血と採尿の方法	3-4	演習
4-5	2. 薬物療法に伴う看護技術		講義
	1) 薬物療法における看護の役割	5	
	2) 薬物療法の種類と方法	6	
6-7	3) 演習-筋肉内注射の方法	7-8	演習
8	3. 呼吸療法に伴う看護技術		講義
	1) 呼吸療法における看護の役割	9	
	2) 呼吸療法の種類と方法	10	
9-10	3) 演習-喀痰吸引と吸入療法の方法	11-12	演習
11-12	4. 栄養療法に伴う看護技術		講義
	1) 栄養療法における看護の役割	13	
11-12	2) 栄養療法の種類と方法	14	
13-14	3) 演習-食事介助と経管栄養の方法	15-16	演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	川村佐和子他編：基礎看護学-基礎看護技術，メディカ出版，2004.			
参考書	1. 氏家幸子他：基礎看護技術Ⅱ 第6版，医学書院，2005. 2. 坪井良子他：考える基礎看護技術Ⅱ，廣川書店，2001.			
その他の資料				

【評価方法】

1. 演習内容に基づいた技術試験
2. 筆記試験

【履修上の留意点】

1. 演習を効果的にすすめるためには、事前の学習を十分に行うことが重要である。